

第78回尼崎市文芸祭 審査結果【短歌】

審査結果	作品	住所	氏名
一席(市長賞)	「見ている」と縄跳びをする八歳が昇る朝日を大きく掬った	兵庫県	小野 さよ子
二席(教育長賞)	学校に行けない孫と歩く径ねこじゃらしの穂遊べと招く	大阪府	長井 洋子
三席(理事長賞)	少しずつ住まう世界の異なれり妻に届かぬ今の雨音	兵庫県	坪田 勝彦
選者特別賞	我れよりも先に逝きたる弟の弁当箱が押入れにあり	福岡県	村上 智代子
朝日新聞社賞	向日葵が人の振りして揺れている誰も知らない淋しい夏だ	埼玉県	鈴木 良二
神戸新聞社賞	陽がそそぐプールの席に君は立ち白きギプスで送る声援	神奈川県	加藤 雄三
産経新聞社賞	浴衣着せ吾子の着丈を確かめる三年ぶりの夏祭りへと	兵庫県	松井 あゆみ
毎日新聞社賞	ミサイルが花火だったらええのにね四尺玉でドーンと向日葵	東京都	梶浦 公靖
読売新聞社賞	前髪を夜風がそっと梳かしてく真昼の熱をはらんだままに	東京都	堀水 芽依
佳作	財成さず逝きたる父が書き残す八冊余りの十年日記	福島県	今野 金哉
佳作	朝の日に淡くのびたるわが影が体操すなり花びらの上に	兵庫県	松田 芳子
佳作	くもどろの差だねと帰国子女の娘は練り歯磨きをちゆるると出す	大阪府	坊 真由美
佳作	散るときが好きと桜を娘と言えど戦時に散るは死ぬということ	京都府	待鳥 千恵子
佳作	黄の蝶が翹ふるはせて花にのるツマグロヒョウモン重力かすか	滋賀県	嶋寺 洋子
佳作	ぐらぐらのまえばははやくぬけてくれたんざくにかくたなばたのあさ	兵庫県	松井 紗愛
佳作	中学の友らと植えし桜木は大樹となりて廃校つつむ	兵庫県	山内 吉加
佳作	この時季はかさをさしだすそうしたら次の季節の変わり目となる	兵庫県	筒井 優葵
佳作	おはようと父に言う朝当たり前いすにすわってふわあとあくび	兵庫県	川畑 琉斗
佳作	初めて会い親友になれると確信しこのことはまだ心の中に	兵庫県	徳永 結衣
佳作	言葉なき二才園児と帰る夕小川のやうに手をつなぎあふ	宮城県	畠山 みな子
佳作	今われを呼ぶこえあれば泣くだろう日傘のなかに影を深くして	大阪府	小野 まなび
佳作	病棟の屋上庭園一巡りしてパンジーのベンチに憩う	滋賀県	近江 堇花
佳作	名を入れる前に濡れたり蠟石で道に描きし相合傘は	大阪府	宮本 史一
佳作	今生の別れと知らず友に手を振りしあの日の空は群青	徳島県	澤田 典子